

## 付着ウイルスD 除去評価試験※

※ウイルスDは社内の識別記号であり特定のウイルス・菌名をあらわすものではありません。

### 目的

試験品を用いた付着インフルエンザウイルスに対する不活化効果を評価する。

### 試験方法

- ①試験機関：一般財団法人 北里環境科学センター
- ②識別番号：北環発 2021\_0075 号（報告書番号）
- ③試験種類：不活化
- ④対象分類：ウイルス
- ⑤試験対象：インフルエンザウイルス
- ⑥試験品：消臭建材：MTS（マスクシールドタイル）
- ⑦試験条件：光源（無加品は無）  
（加工品は有）白色蛍光灯（照度：500Lux）シャープカットフィルタ TypeB にて  
380nm 以下の波長をカット  
：作用時間（480分）
- ⑧試験方法：タイルにウイルスを付着させ所定時間後の付着ウイルス感染価を測定  
JIS R 1756：2020（ファインセラミックス-光触媒材料の抗ウイルス性試験方法）を参考

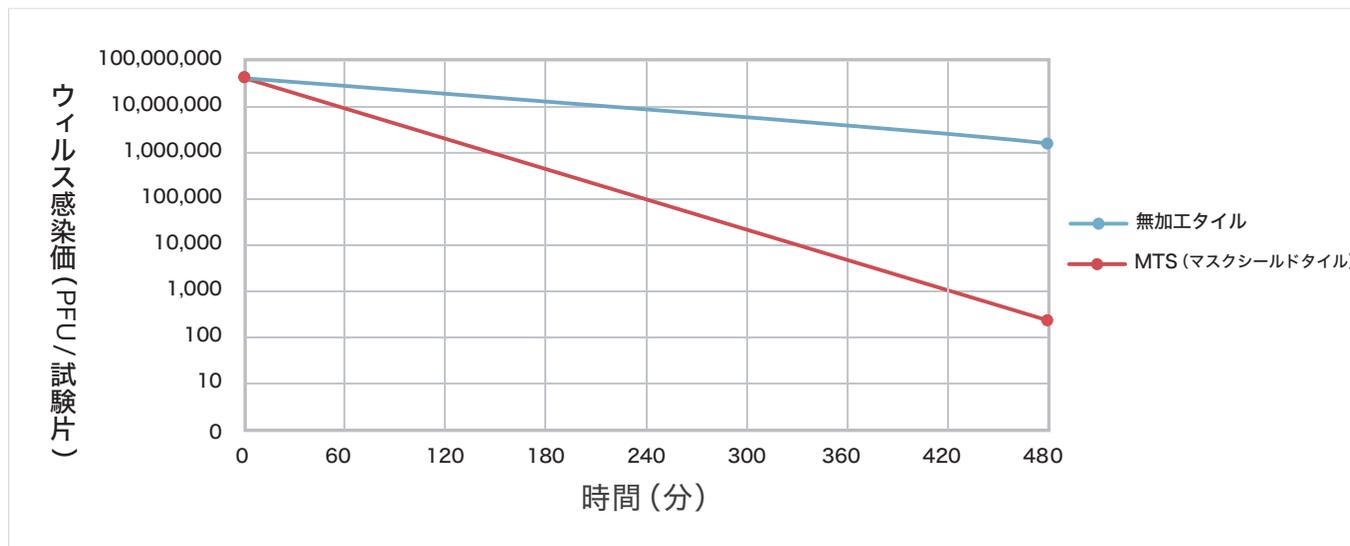
### 試験結果

無加工タイルとMTSによる所定時間後の付着ウイルス数を示した。

所定時間後の付着ウイルス数

単位：PFU/試験片

	0分	240分
無加工タイル	41,000,000	1,600,000
MTS	41,000,000	250



所定時間後の無加工タイルと MTS の付着ウイルス感染価から計算した対数減少値と減少率を示した。

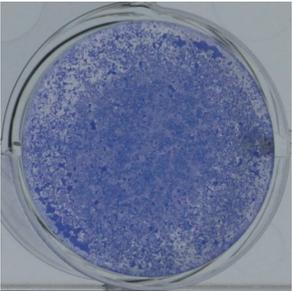
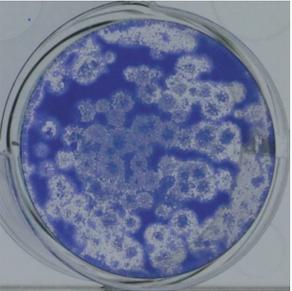
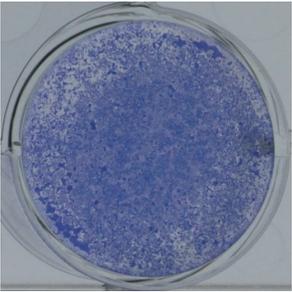
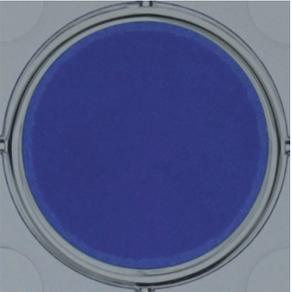
### 所定時間後の対数減少値と減少率 (%)

	0 分	480 分
対数減少値 (減少率)	0.0 (0%)	3.8 (99.98%)

本試験によって得られた試験品による対数減少値(減少率)は480分で3.8(99.98%)となった。

注) 研究試験データであり、実使用環境での効果を示すものではありません。

## ブランク写真

	0 分	480 分
無加工タイル		
	41,000,000	1,600,000
MTS (マスクシールド)		
	41,000,000	250

※色が抜けている部分がウイルスが細胞に感染した箇所 ※希釈倍率  $10^2$